



伊奈学園中学校だより

令和元年12月 3日
第 9 号

校長室より

校 長 衛藤 一憲

立冬も過ぎ、ここのところ冷え込みも一段と厳しくなってきました。いよいよ冬本番といったところでしょうか。二学期も終盤に差し掛かりました。先月は、9日に授業参観、21日にはミニコンサートを行いました。多くの皆様にご参加いただきましてありがとうございました。このミニコンサートで二学期の大きな行事も終了です。今学期も残り一月、来週から期末考査が始まります。これからは学生の本分である学業に専念してほしいと思います。

さて、先月の授業参観後には、全体保護者会を開催いたしました。その際、私の方から、今後、社会で必要とされる思考力、判断力や表現力といった能力を育成していくための本校での取組について少し説明いたしました。今回は、そうした能力をご家庭で育んでいくのに役立つ、親子の会話についてお話させていただきます。

日頃、お子様とはどのような会話をされていますか。もしかすると次のようなものになってはいないでしょうか。

保「宿題は終わった？」子「まだ」保「夕飯の前にやっしまいなさいね」子「わかってる」
保「今度の部活の大会はいつだっけ？」子「来週の月曜日」保「準備するものとか、先生は何か言っていないかった？」子「さあ、別に」

こうした会話は、親が知りたいことの確認とそれに対する子供の返答で終わってしまっています。お子様との日頃の会話が、上記のようなそっけないやり取りに終始してしまっている場合には、会話の中身（問いかけ）を少し工夫して、子供の気持ちや考えをたずねるようにしていただきたいと思います。

保「今日は何の授業があったの？」子「いろいろあった。数学、英語、体育も」
保「中学の授業って小学校の時とやっぱり違いを感じる？」子「うん、全然違うよ」
保「へえ、特にどういうところが違うと思うの？」
子「話し合いや説明することも多くなったし、何だか急に難しくなったって感じかな」

こうした問いかけはコーチングスキルの1つで、このような会話（問い）を通して、子供は自分の考えを自ずと探していくことになります。

最初は、「別に…わからない」といったそっけない答えしか返ってこないかもしれません。でも、こうした問いを繰り返していくうちに、自然と「自分で考え、自分の言葉で話す」習慣が身に付いていきます。

難しい質問である必要はありません。「今日、学校で何があった」「それについてどう思った？」「ちょっと教えて（説明して）ちょうだい」「どうすればいいと考える？」など、日々の出来事についてたずねてもいいですし、テレビを見ながら、時事等のニュースについて、「これってあなたはどう思う？」と考えを聞くことでも結構です。

どんな答えでも否定せずに受け止めていくことで、次第に自分の考えを自分の言葉でまとめ、話せるようになっていきます。

ポイントは、「答えは子供の中にある」こと、そして「急かさない」ことです。「すぐに答えが返ってこなくてもいい」そのぐらいの気持ちで、ゆっくり問いかけ、答えを待ってみて下さい。こうした親子の会話、習慣があるかどうかで、子供の思考力、表現力の育成に大きく影響してくることになります。

ご家庭でのお子様との日常の会話、是非、一工夫してみてくださいたいと思います。

なお、お子様の話の中で、何か気になること等ありましたら、遠慮なく学校にご相談いただきますようお願いいたします。

【健康管理にご注意を！】

先週、本県でもインフルエンザの流行期に入ったとの報道発表がありました。

今年は全国的に例年より早い時期から患者報告数があり、今後、県内でも流行の拡大が予想されることから、十分な注意が必要です。

普段からの「外出後の手洗い・うがい」「咳エチケット」「十分な休養とバランスのとれた栄養摂取」など、ご家庭でも予防に心がけていただきますよう、よろしく願いいたします。

★感動のミニコンサート

11月21日（木）に、桶川市民ホールにおいて恒例のミニコンサートが行われました。開会式では、**第16期生徒会長のONE TEAMで奏でる音楽**という言葉が印象に残りました。日頃の練習の成果を全クラス発揮し、感動につつまれたミニコンサートとなりました。

最優秀賞は3年1組の「虹」、優秀賞は3年2組の「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」、審査員特別賞は2年2組の「翔る川よ」でした。また、**指揮者賞に2年2組男子が、伴奏者賞に3年2組女子**が選ばれました。おめでとうございます。

★生徒の活躍！

アンサンブルコンテスト南部地区大会

木管六重奏 金賞 6名
サクソフォーン四重奏 金賞 4名

★公開研究授業実施「未来を主体的に切り拓く生徒の育成を目指して」

11月12日（火）研究公開授業が実施されました。本校は東京大学大学院教育学研究科と独自に連携し、「教科を越えた深い学び」をテーマに研究を進めています。当日は、東京大学大学院准教授植阪友理先生をはじめ県内外から多数の参加者がありました。

教科の枠を越えた『深い学び』の創造を目指して、日々授業改善を進め、変化の激しい時代の中でも生徒が逞しく生きていくための資質・能力を高めることを目標としていきます。

12月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2 全校朝会 諸活動停止期間	3 3年内進生と語る会	4 1年英語特別授業	5 2年総合特別授業	6 1年総合特別授業 科学の甲子園全国大会	7 科学の甲子園全国大会
8 科学の甲子園全国大会	9 期末考査	10 期末考査	11 期末考査 薬物乱用防止教室 2年総合特別授業	12	13 専門委員会	14 サタセミ アンサンブル大会
15	16	17 40分授業①③⑤L	18 40分授業②④⑤⑥	19 45分授業②④⑤⑥ 2年総合特別授業	20 45分授業①②③⑤ ふれあいデー	21
22	23 40分授業①②③④ 大掃除	24 終業式	25 入学願書受付 冬期休業～	26 入学願書受付	27	28
29	30	31	1/1	2	3	4

12月16日（月）～朝のスキルアップは「百人一首」となります。